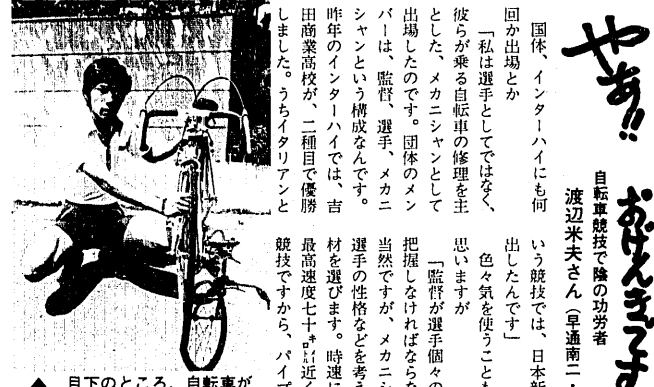


七月十五日 全国市長会議を
機会に、人口急増都市、新産
業都市、市長連絡会、日ソ沿
岸市長会、日朝友好貿易促進
などの各種協議会総会が、連
日一せいに開かれる。議題の
中心は、八十年代の日本の動
向と地方のあり方、と共通の
ものに集中される。多額の
の企画、財政担当官の発言に
も共通のものがある。多額の
も共通のものがある。多額の
も共通のものがある。多額の

た。「車椅子の絶唱」と銘う
つてあったが、立派である。
心から再援をお
くりたい。
七月二十一日
豊栄管内の防
犯組合連合会総
会、暴走族と
不良団体の防
止対策をめぐ
り、市民が各地
に散らばり、
総力をあげて追
放する心構えと
実施運動が必要
である。特に自
動販売機の設置
場所提供に對し
ては、PTAや
自治会などが
強力に交渉して
撤去させること
とする。
七月二十八日 県住宅供給公
社が造成中の駅東団地の幹線

市長の日記 石井新一

街道(通称芋黒線)に、両側
歩道に様に植樹帯を造りは
じめたのを発見した。私は、
片側を自転車道にするため、
芋黒地内に市が工事をはじめ
た部分には、特に西側歩道の
幅を広くとつてある。それと
一線なので、公社にもその方
針を伝えておいたのだが、徹
底していない。既に購買に付
して工事を進めているので無
理だとは思つたが、交渉して
植樹帯を除去してもらつた。
今後新設する広い道路は、す
べてこの方式とし、省エネル
ギーと市民の体力向上に役立
つ自転車道を奨励したい。
八月一日 今日から道路愛護
月間がはじまる。その初日だ
というのに、自転車に乗って
危い目にあつた。下町地内の
駅前で、駐車中の自動車のす
ぐ脇を通行中、突然運転手が
ドアが開いて私は左ハンド
ルをおされた。危く転倒は免
れたが、直後を自動車が行き
ながら、微妙に影響するんで
す。かなり神経を使います。
自転車の魅力は
「生来機械いじりが好きだ
つたんです。自転車は、これ
だけ一般に普及しているのは、
手軽で、楽しいからだと思っ
たんです。実際のスピード感
は、すばらしいものです。か
なり前になりますが、早北北
団地の空地で、テクニクを
競う、自転車のモトクロス大
会をやりました。高校生が主
体で、小・中学生も参加しま
した。豊栄からは十人程集
まつたんです。子供達は、
本当に自転車が好きなんで
すね。子供達は、一生懸命練



自転車競技で隣の功労者
渡辺米夫さん(皇通南二・二九歳)

「自転車の夢を……」
「自転車競技は、純粋なス
ポーツなんです。ところが他
のスポーツに比べると、まだ
まだそう見られていないんで
すね。子供達は、一生懸命練
過きた。転倒したらひき殺さ
れたかも知れない。数年前に
も同様のことがあつた。その
ときは、完全にハンドルをひ
つかけられて、舗道へたき
つけられるように転倒した。
私は軽傷を負つたが、直後に
来る自動車だけが重なつた。
二つの悪条件だけが重なつた
ら大事故になつた。今後は自
動車から離れて通り、自動車
は私の後を徐行させようと思
う。それにしても、交通量の
多い道路の両側の違法駐車は
止めてほしい。住宅団地など
で特に夜間まで道路に放置し
てある自動車が多い。これは
違法なので、損傷を受けても
損害賠償の対象にならない。
反対に、通行人や通行車両に
危害や損傷を与えたら損害賠
償を要求される。冬の除雪に
は特に障害になるが、考え方
は同様なので注意してほしい。

目下のところ、自転車が
恋人という夢とロマンを胸
に秘めた渡辺さん
国体、インターハイにも何
回か出場とか
「私は選手としては、
彼らが乗る自転車の修理を主
とした、メカニシャンとして
出場したのです。団体のメン
バーは、監督、選手、メカニ
シヤンという構成なんです。
昨年のインターハイでは、吉
田商業高校が、二種目で優勝
しました。うちイタリアンと



島 (28)

貝塚は第一に水のあるこ
ろ、第二は食料の豊富なこ
ろにできます。蒲原平野には
島見湖、福島湖、紫雲寺湖の
大きな湖がありました。島屋
貝塚は福島湖と島見湖の中間
にあつて、船で福島湖を通つ
て五頭山麓まで、島見湖から
海まで行きました。島屋貝塚
は干拓までは加治川、境川、
胎内川の遊水池で、東は胎内
川、乙川、荒川、日本海へ、西
は加治川が運野、松影を流れ
て島屋付近を経て島見湖へ流
入しました。聖籠町の四郎兵
エ湖や弁天湖は加治川の氾濫
の跡といわれています。島屋
貝塚から紫雲寺湖へ荒川まで
船で行けたので、島屋貝塚は

鳥屋遺跡と付近の集落
三大湖の中心地だったので、
食糧は大和じみや鮭などの
貝や魚類、海が近いので塩も
手に入れたでしょう。
この度の発掘には果が、三
十一年の発掘には桃の種子三
個が出しています。鳥屋人
は栗や桃を食べて
いたのです。桃は
中国の原産といわ
れますが、古代か
ら日本にもあつた
ので鳥屋遺跡はそ
れを証明していま
す。また木崎地区
の砂丘はよい狩場
だったので、現在
在の水田下が住居
に適した陸地とし
たから前の離れ畑
は地続きで今より
鳥屋は広がつたの
です。背後のお宮



中心であつた鳥屋貝塚へ水陸
から集まつて来た人々は、鳥
屋人の土器の立派さに驚き、
男女のシンボルの石器を持つ
や菅玉をさげ、頬に朱をぬつ
た鳥屋美人にうっとりしたこ
とでしょう。
— 島山 佑二記 —

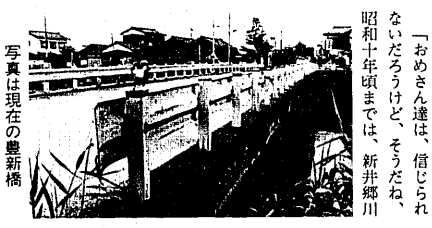
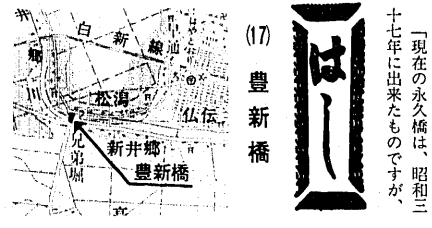
貝塚は第一に水のあるこ
ろ、第二は食料の豊富なこ
ろにできます。蒲原平野には
島見湖、福島湖、紫雲寺湖の
大きな湖がありました。島屋
貝塚は福島湖と島見湖の中間
にあつて、船で福島湖を通つ
て五頭山麓まで、島見湖から
海まで行きました。島屋貝塚
は干拓までは加治川、境川、
胎内川の遊水池で、東は胎内
川、乙川、荒川、日本海へ、西
は加治川が運野、松影を流れ
て島屋付近を経て島見湖へ流
入しました。聖籠町の四郎兵
エ湖や弁天湖は加治川の氾濫
の跡といわれています。島屋
貝塚から紫雲寺湖へ荒川まで
船で行けたので、島屋貝塚は

今回は新井郷川の最下流、
豊栄市と新潟市の境に架かる
「豊新橋」を紹介しよう。
兄弟橋の橋本正さん(六九
歳)と、同級生の橋本十一郎
さん(六九歳)に語ってもら
いました。
「豊栄と新潟の頭文字をと
つて豊新橋と名付けたんです。
昭和二十六年に工事が始まり、
翌年の春に現在の永久橋にな
つたんです」(正さん)

その前の木橋は、昭和七年の
水害で流された横雲の横雲橋
を利用したんです。現在の橋よ
り三百メートル上流にあつた
んです。現在の位置にするの
に反対者が大勢いて難航した
んですよ」(十一郎さん)
今は水も汚くなりましたが
「おめさん達は、借られ
ないだろうけど、そうだね、
昭和十年頃までは、新井郷川
に風呂を置いて、川の水で風
呂に入つたものさ」(正さん)
「魚が一番取れたのも、そ
の頃だったね。米のとぎ汁と
か、ソーメンをさわたりし
たんだから、魚のいいエサ
になつたんだね。川端の百姓
は、寒中にコイ、フナ、ナマ
ズ、カニなどを取つたもので
す。農作物が不良の時、雨
が多かつたものだから魚が多
く取れたんです。実際、魚で
しんしょあげた人もいたんで
すよ。今でも、魚、カニなど
沢山いることはいるんですよ。
でも、二年前くらい前からへん
なにおいがしてとんでも食べら
れないんさ。もつたいない話
です。滋賀県の琵琶湖も同様
じゃないけれども、なんとか
しなければならぬ時期なん
では……」(十一郎さん)

富吉(13)

「竹で弓を作つて、ヨシの
矢を飛ばしたりね。ところが
鉄砲と違って、矢が飛んでく
るのに時間がかかるもんだか
ら、けがをするなんてことは
ほとんどなかったね。これと
いった偵察もなかった当時で



富吉(12)